

●特集

新型 **ヤマハ** **メイト** V50 V70 発売



みなさま、明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご愛顧をたまり厚くお礼申しあげます。

昨年、日本経済は大きな繁栄をみせましたが、公害問題、欠陥車問題など、幾多のひずみも目立ちました。

オートバイにつきましては、おかげをもちまして、国内、海外ともに需要が好調に推移しております。

しかし、オートバイを世界商品として健全に育てていくためには、企業の利益追求もさることながら、より公共性を重視した姿勢で社会に対処していかねばなりません。しかもこれはまたお店の近代経営化の方針に合致し、共同体としての繁栄に結びつくものでなければならぬと考えております。

こうした見地に立脚して、ヤマハでは社会的にも意義ある諸政策をもって積極的な需要創造活動を展開してまいりました。

現在実施中の「原付免許教室」「二輪免許教室」「トレール教室」「スポーツ教室」など、一連の活動を今年はさらに推進し、安全運転の思想を広く普及してまいります。

これらの活動をより強力に広げていくため、ヤマハではスポーツレジャー界の新しい組織づくりを計画しており、この組織

を通じてヤマハにふさわしい数々の行事も全国的に発展させていく方針です。

いっぽう市場におけるスポーツ、トレール車の需要増大にともない、鋭意生産体制の増強にはげんできましたが、磐田工場内に新オートバイ工場も完成し、本格的に稼動を開始しました。

その他、ヤマハ工場グループには新鋭設備の導入、作業のオートメーション化など、大中に生産能力の向上を果すことができました。

部品サービス体制の確立、明日の二輪車時代を築く新製品の開発など、ヤマハは常に研鑽をつづけております。

新しい年、一九七一年もまた販売店さまと手をたずさえて共に繁栄する年でありたいと思っております。

昭和四十六年元旦

ヤマハ発動機株式会社

取締役社長

川上源一



# ニューメイトで積極的な販売を…

## ヤマハメイトV50(E) / V70(E)



男の人・女の人、小さい人・大きい人、ベテランの人・初心者の人……みんながお客さまとなるヤマハメイト50/70に新型が登場!! 新春のご販売をいっそう活気あるものとします。

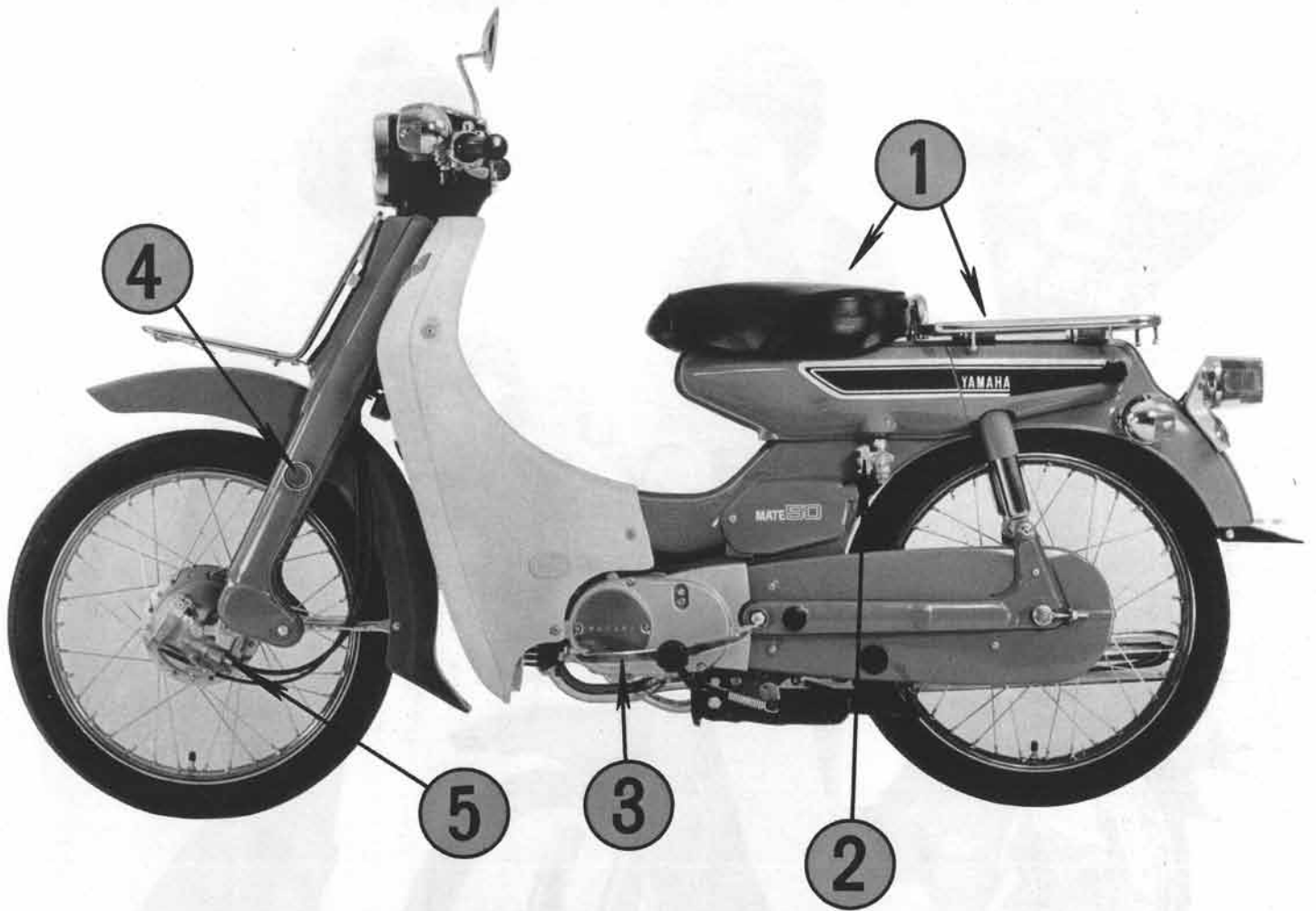
この「新型メイト」の売りどころは盛り沢山、とても一口では言い切れません。しかしポイントを絞れば、「らくらく乗れる」ということ、「安全に楽しく走れる」ということにつきます。

シート位置を低く、フットレスト巾をせまく、ハンドル位置を高くとった「らくらく設計」で、ライディング・ポジションはまさに余ゆうたつぷり。ホイールベースも長く、文字どおり「らくらく」の乗り心地が味わえます。

さらに、好評オーディオパイロット、大型マーカーランプをはじめ、サイドリフレクター、防水防塵ブレーキ、大型ランプ類の採用など、ニュー・ヤマハメイトV50・V50E/V70・V70Eは安全性でも一段とぬきんでた設計で、より多くのお客さまをとらえます。

# 乗れます

- 20ミリも低くなったシート高さ、
- 40ミリも大きくなったホイールベース、
- 80ミリもせばめられたフットレスト巾、
- 20ミリ広く、30ミリ高くなったハンドル位置。
- 新型メイトのライディング・ポジションは“らくらく”です。(写真はV50)



**3** 変速はロータリー式、  
シーソー式とちらでも  
好みに応じて選べるヤ  
マハ独自の新機構（ノ  
ブを押込めはワンタッ  
チでシーソー式となる）

**2** 燃料コックは負圧式。  
エンジンを停めれば自  
動的に供給を遮断

**1** 低く乗りやすくなった  
シートと、強くスマー  
トな大型キャリア

**4** フロント、リヤ（テールランプ）にもサイド  
リフレクターを装備



# ヤマハメイト V50(E)/V70(E)

\*

### ●エンジン関係は——

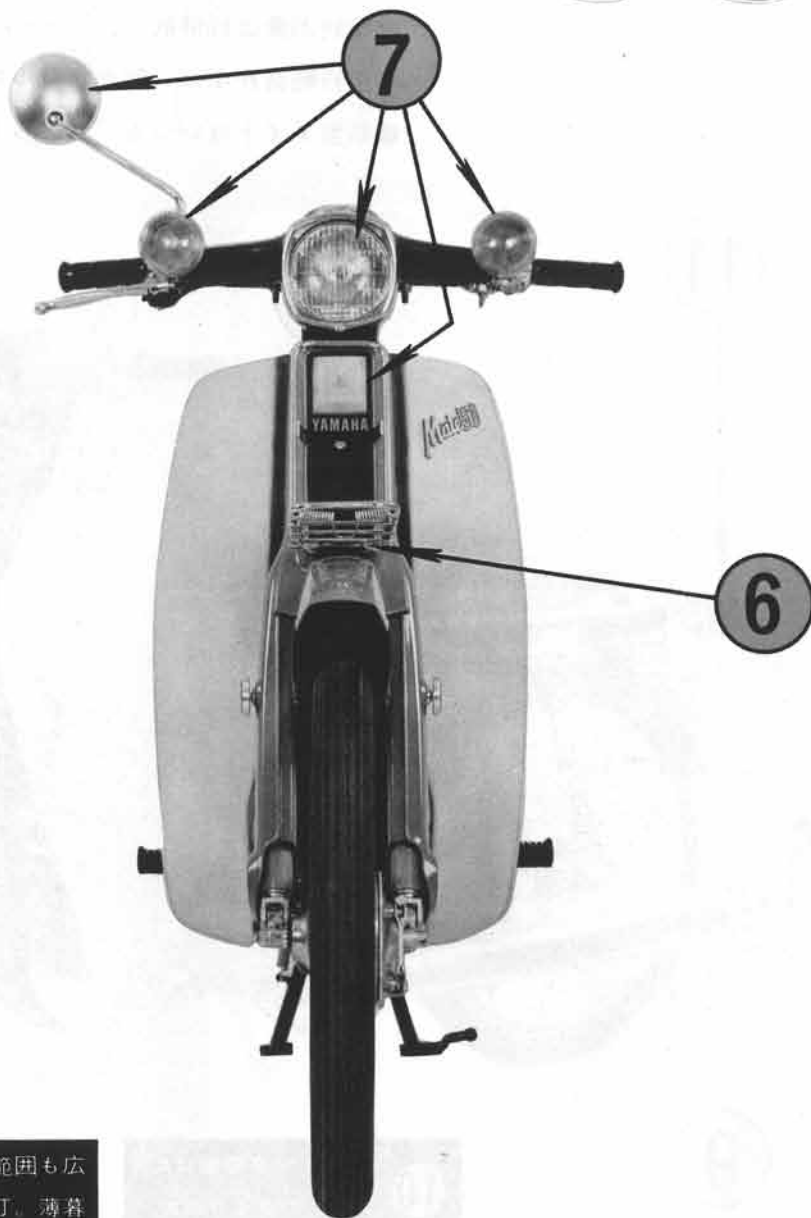
新開発のリードバルブ式2サイクル単気筒49cc=40×39.7mm (72cc=47×42mm) 圧縮比は6.6 (6.8)で、最大出力4.5 (6.2)馬力を6000 (6200)毎分回転で発生。最大トルクは0.54 (0.70)kg-m/5000 (4500)毎分回転。

このように高出力を比較的low回転でひきだしているのは大きなセールスポイント。つまり出力特性にクセがないので扱いやすく、エンジンの寿命も長くなります。始動はキックとセルの二通り。キックはアームが長く、回転比も増大。軽く、踏みやすい。また押しかけも可能。キャブレターはVM14(15)SC [スターター付]。点火プラグB-4HS。潤滑方式オートループ。タンク容量ガソリン4.5ℓでこのタイプ最大。オイル1.4ℓで残量明示計付。

### ●動力伝達装置は——

一次減速ギヤ、二次減速チェーン。クラッチは湿式多板の自動遠心式。変速は3段で、ロターリー式にもなればシーソー式にもなるヤマハ独自の併用式。つまりお客さま好みに使い分けられる方式で一大セールスポイント。

# これで ぶぶぶ



**7** 高位置で照射範囲も広くなった前照灯。薄暮灯も大型化された。バックミラーは安全なボールジョイント式。方向指示灯は好評のオーディオハイロッド付。



**6** これは重宝。ストップパースティもついたフロント・キャリア



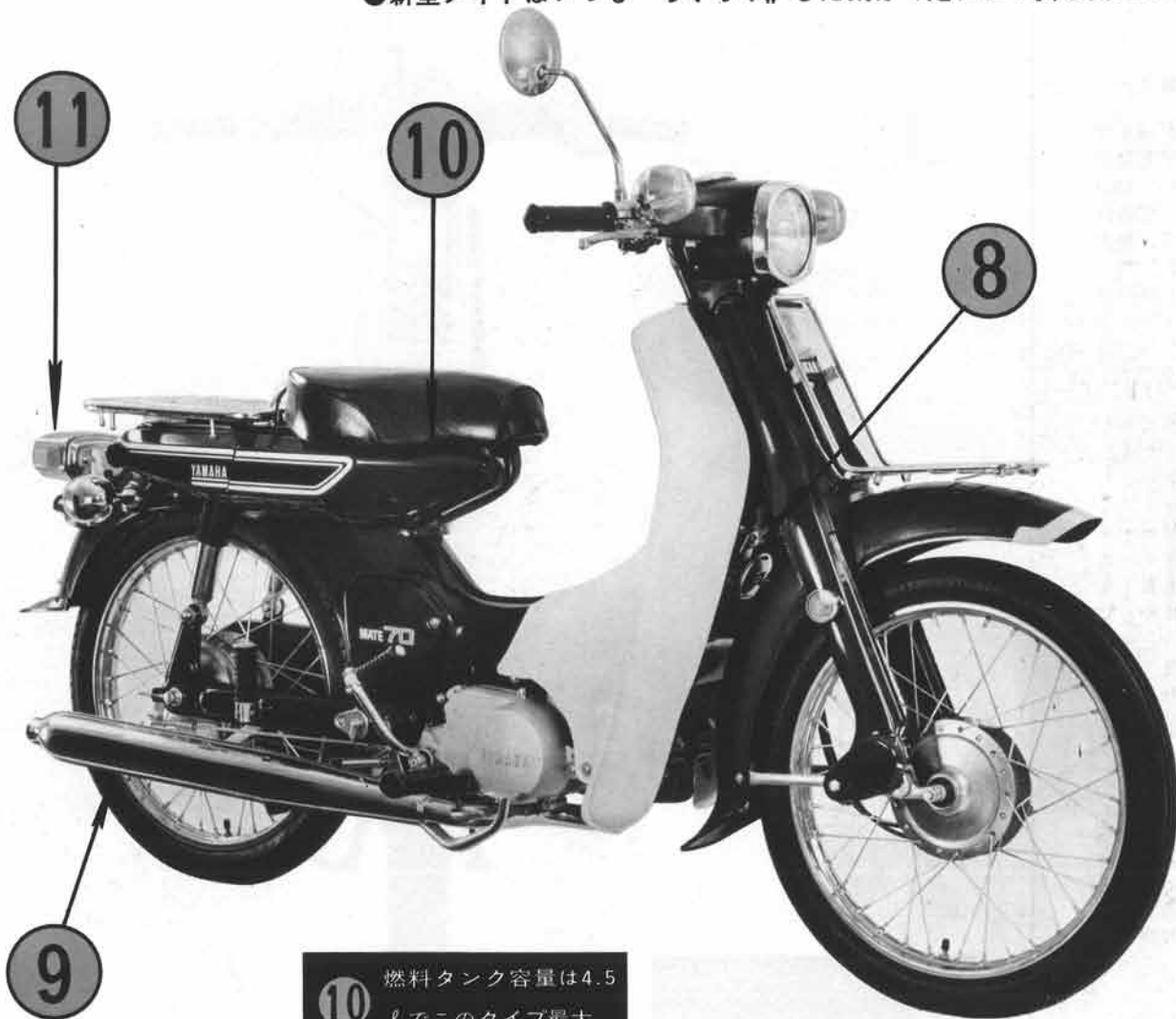
**5** ブレーキはすでに確固たる定評を得たヤマハ特許の防水防塵式





# 走れます

- 新開発のリードバルブ式オートループ・エンジン、大型エヤクリーナー、大容量マフラーの採用で、
- エンジンはすぐにかかり、
- 燃料消費は経済的で、
- 走行騒音が少ない静かなクルマ。
- 新型メイトはいつも“らくらく”した気分で走れます。(写真はV70)



11

サイドフレクターもついて、一段と大型化されたテールランプ



10

燃料タンク容量は4.5ℓでこのタイプ最大。オイルタンク内にはライトが収納されていてボタン一つで残量を明確に指示。(目盛りゲージ付)



9

大容量のマフラーにはヤマハ特許のサイレンサーを追加



8

ステアリングロックはイグニッションと共用の便利な両面式キー



諸元から見た新型メイト

# ヤマハメイト V50(E)/V70(E)

\*

### ●フレーム関係は——

全長1840mm、全巾645mm、全高1005mm、軸間距離1180(1175)mm、最低地上高135mm。

プレスバックボーン式のフレームで前輪支持ボトムリンク、後輪支持スイングアーム〔共にオレオ付〕。タイヤ寸法2.25-17吋〔前後共〕。ブレーキは前後輪共にストップライト点灯式の防塵防水式。重量は70(72)kg。いままでのメイトにくらべてシート位置が低く、ゆったり乗りやすくなったこと、重量が軽くなったことが強調されます。

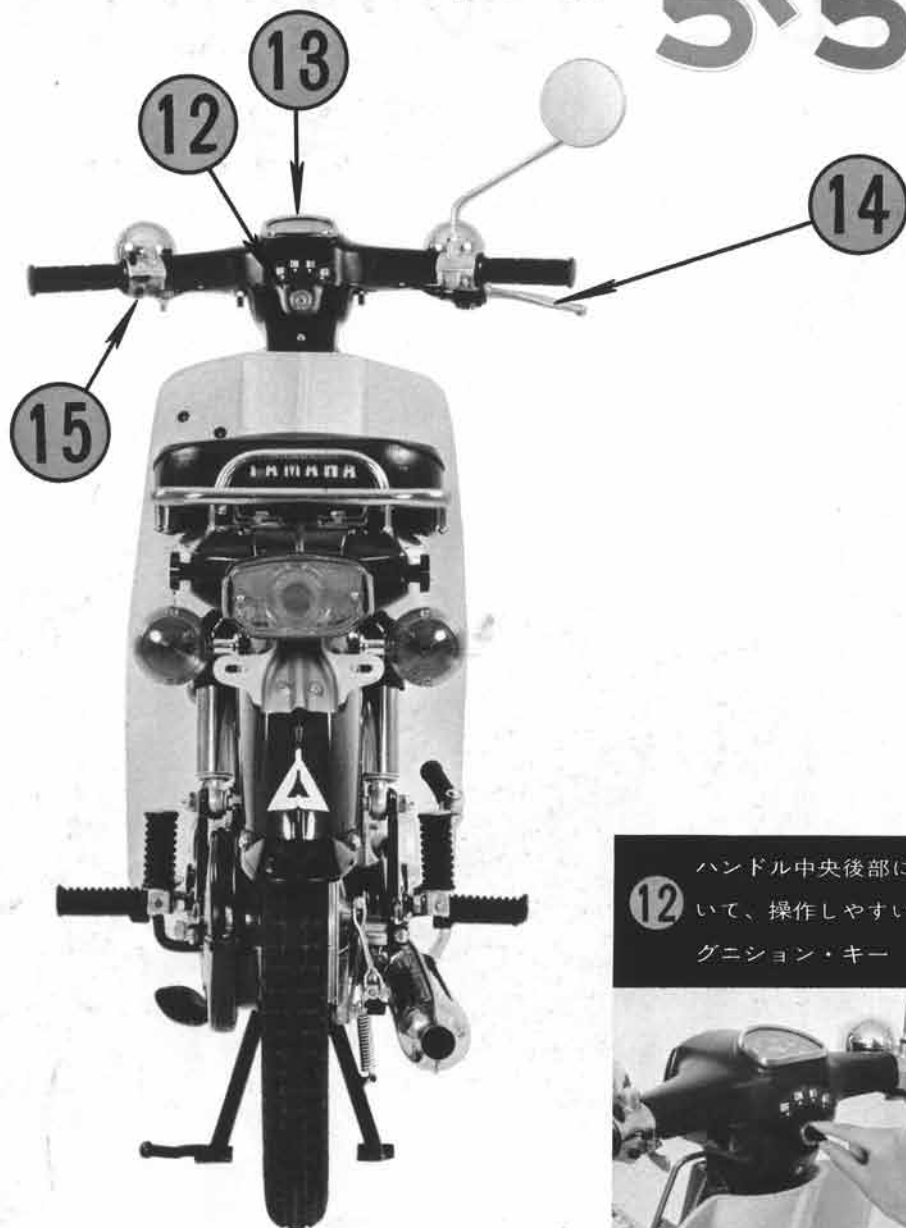
### ●電装関係は——

キック始動が6Vシステムで、セル始動は12Vシステムの相違点あり。メーターはハンドル中央の組込式で、昼は白文字盤だが、夜はグリーンに光る豪華型。

### ●最後に性能について

——最高速度70(85)km/h、燃料消費率90(80)km/ℓ<30km/h>登坂能力19.5°(20°)、制動停止距離7.5m/35km/hは、データとしてはいままでのメイトUシリーズのものと変わりませんが、総合的な乗り心地や実用燃費は一段と向上しています。これは試乗の際にとくに明確にご説明ください。お客さまは身体で納得してください。

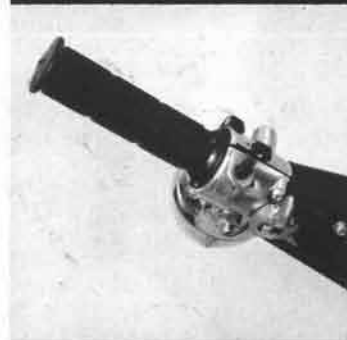
# これで らくらく



12 ハンドル中央後部について、操作しやすいグニション・キー



15 ハンドル左にはダイヤル、ウィンカー、ホーン、スターターレバーなどが集中している。



14 ハンドル右の前ブレーキレバーについたストップランプスイッチ



13 簡潔なデザインで見やすい速度計。夜間は文字盤がグリーンに輝く



# けれど たのもしい彼 愛されている"ミニ"

三重県度会郡大宮町の女子高校生、一ノ谷啓子さん(16)が、ヤマハミニで通学して、その愛嬌あるポーズが町の人気を集めている。女より男の子と話している方が面白い、という明朗活発な啓子さんは、中学生の頃から親戚のヤマハメイトを内諾で乗りまわしていた程のオートバイ好きである。去年ボーイフ

レンドが90HT1を買ったのに刺激されて、自分でもほしくてしかたがなかった。夏休みを利用して原付免許をとると、早速、お父さんにねだってヤマハミニを買ってもらったという次第。通学といっても、県立宮川高校ではオートバイの乗入れを禁止しているため、自宅より3km離れた川添駅までミニで走り、

駅前預り所に置いて、あとは汽車ということ。他の学生や通勤の人達と同じである。女の子だからお使いはするし、華道も習いに行くが、いつもパンタロンをはき、ヤマハミニでというから、"ミニ"も幸せもの。これから免許を全部とってみせるという元気な啓子さんであった。



どう！ 私のフィーリングにぴったりでしょ。彼っていつでも、どこへでも連れてってくれるし、やさしくて力持ちよ



# 小さい

朝七時、冷たい風がほおをなてる。早く暖かい季節にならないかなー



家族全員と。家では大の父さんツ子。



三重県の第一号ミニニということで、販売店の見並商店さんもよくめんどうをみてくれる

全国のトップをきって開催

# ヤマハトレール大会



# 第1回 中部



北陸、静岡、浜松、岐阜、愛知、三重の6地区に分けて晴れの開会式。選手宣誓をする代表は三重・村田選手。



さあ、トレールランドで来たえにきたえた腕を今こそ発揮しよう。会場は若人の熱気でむんむんする。



ジャンプ一番。これもトレール教室で運転の基本を身につけたからこそ。



湧きに湧いた会場のヤマハトレールランド員弁

中部ヤマハクラブ、名古屋支店共催の「第一回中部ヤマハトレール大会」が十一月二十二日、新設のヤマハトレールランド員弁（三重県員弁町）で盛大に開催されました。

この「中部大会」は中部ヤマハクラブの管内の朝霧、志摩、辰ノ口、三重、愛知など各トレールランドの選りぬきのライダーを集めての大会で、いわば中部地区でのグランプリともいえるもの。それだけに人気は高く、記念すべき第一回のタイトルを獲得しようとする

〇〇名を越えるお客さまが集まりました。また当日は天候にも恵まれ、会場は湧きに湧いた熱戦で終始しました。

内容は市販車部門、改造車部門のクラス別で、予選・決勝のモトクロス一〇レースとオートラクションとしてのパン喰い、中部スポーツライダーによる模範レース、クラブ対抗リレーなどで、それぞれの優勝・入賞者には盛り沢山の賞品が贈られた。またこの大会では地区別の対抗となっており、クラブ対抗リレ

ーの得点と合わせて浜松地区が総合優勝を飾りました。

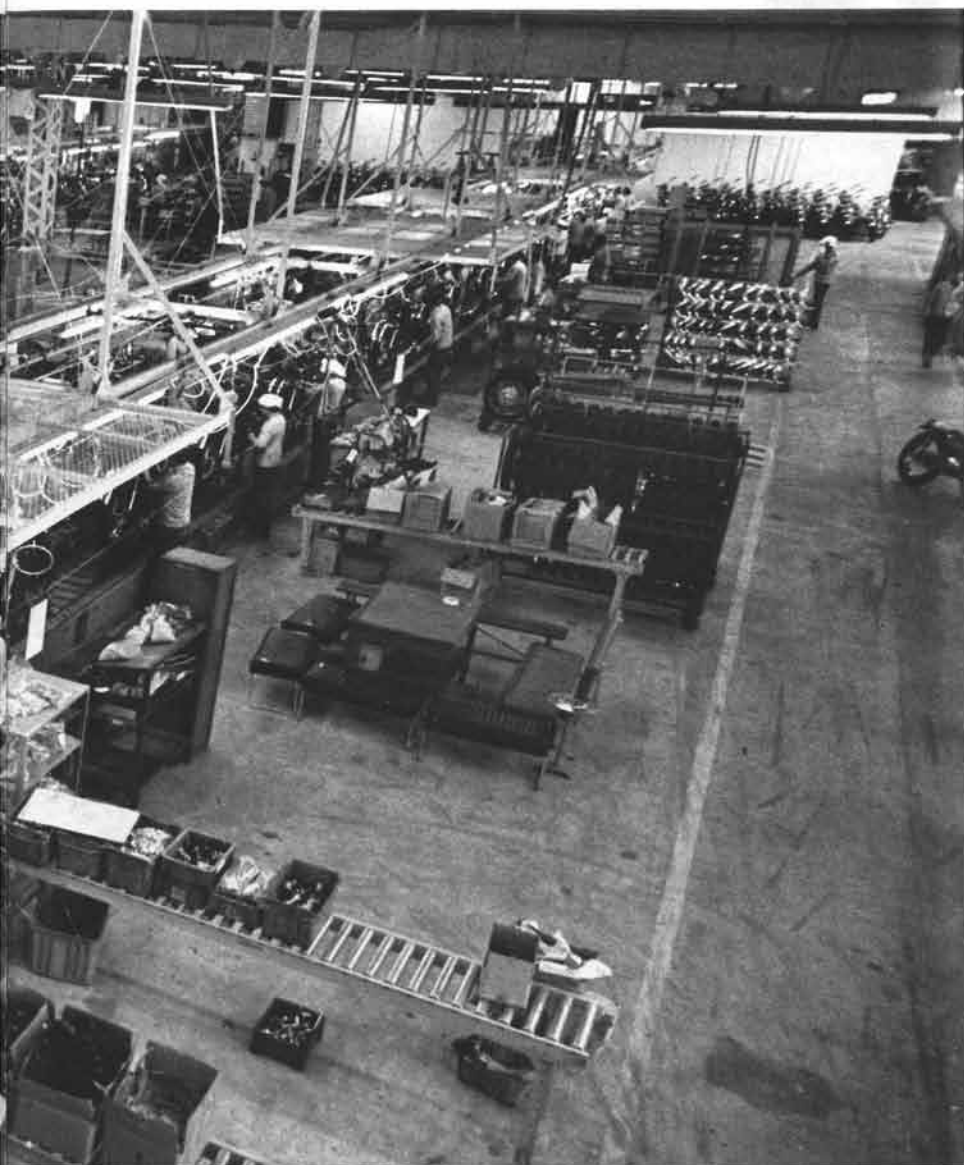
なお会場は、桑名市から二十キロほどの狩猟場をきりひらいた全長一・五キロの起伏に富んだコース。最近までイノシシが出没していたところでしたが、トレールのひびきに新天地に移動した様子で、トレールランド員弁のオープンには、近在の豊家のみなさんに喜んでもらえるなど、思わぬ付録がついたものでした。





年産80万台へ大きく飛躍

# 磐田・オートバイ新工場が全面稼働



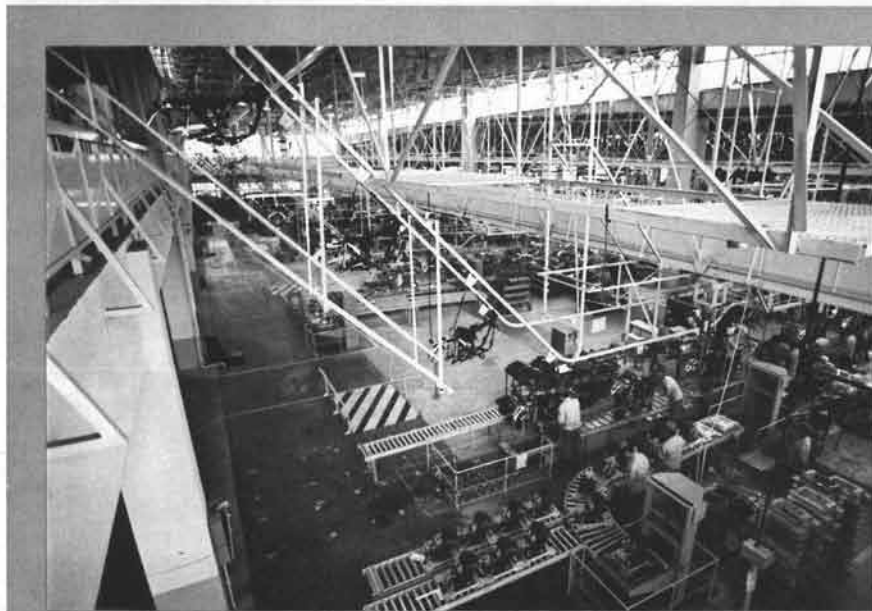
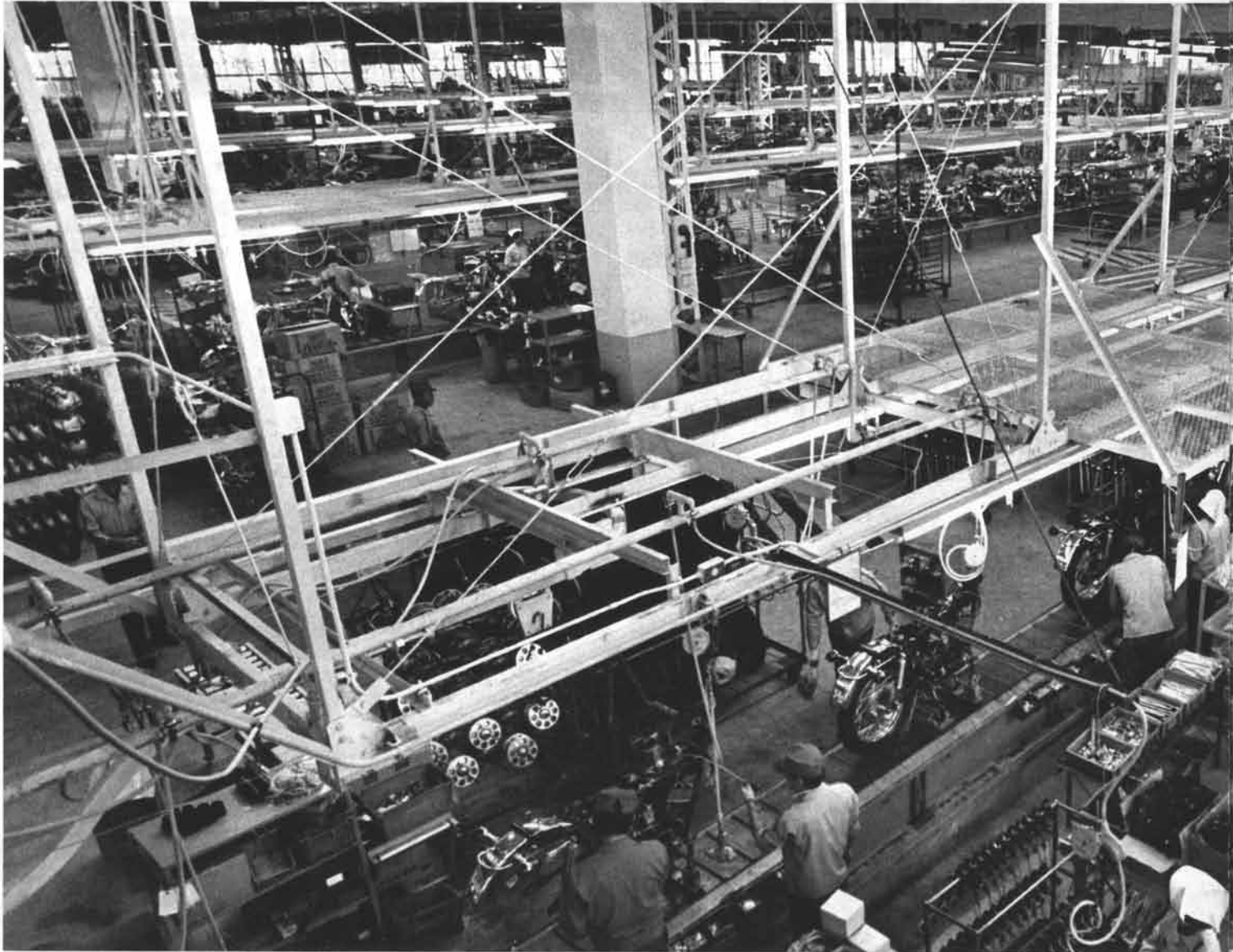
拡張に拡張を重ねてきた磐田工場（静岡県磐田市新貝）に、このほどオートバイ新工場が完成、全面稼働の運びとなりました。

このオートバイ新工場は、総工費十五億円を投じて建設されたもので、建物面積は一階が約二万平方メートル、二階が約四千方メートルで、A・B・C・D四本の組立てラインをもつほか、近代的な塗装工場も併設されています。その一部は三月に稼働していますが、さる十一月にすべての工事が完了し、予定どおり四本の組立てラインが全面稼働となったものです。

これで、ミニからXS六五〇に至る一連のヤマハ製品の生産は飛躍的に増大し、その能力は年産七十二万台に達し、本社工場、昌和製作所を合わせて年産八十万台の生産体制を確立しました。



A.B.C.D.4本の組立てラインが全面稼働でひとときわ活気あるオートバイ新工場



立体的なレイアウトで生産効率はきわめて高いのが特色



組付部品の供給も人手を借りずに能率的に行なわれる

# ヤングのスポーツ君

長谷川ススム

## 本格化した重量車ブーム

保有二年間で二倍に  
台数

生産も前年比六〇%増

★「新しい二輪車時代を築くヤマハ」が、世界に先がけて巻き起したトレール・ブームにはじまるスポーツレジャーの傾向は、次第に中広く発展し、ミニ・サイクルから重量車に至るまで、新しい需要を次々と生みだした。とくに、これまで影のうすかった重量車の需要につよい刺激を与えたものでした。

〔二輪車新聞〕本年の二輪車販売界は再び訪れたブームにわいた。需要底辺は拡大され、

原付車から重量車に至るまで販売実績が伸長した。なかでも二五—cc以上の小型二輪車にいたっては昨年から本年にかけて急増し、

生産は前年度に比べて約六〇%の増加となり国内需要も五〇%以上の伸びを示している。従って、保有台数もついに十四万台を突破し過去一年間で約二倍の伸びを示している。

今日の二輪車ブーム再来はスポーツ、レジャー化によって開かれたが、その先鞭がレーズであった。かつて二輪車は実用性を第一としていたのがスポーツ化により、需要層は若がり、加えてメーカーの積極的技術開発と拡販があり、生産の九割以上が輸出に向けら

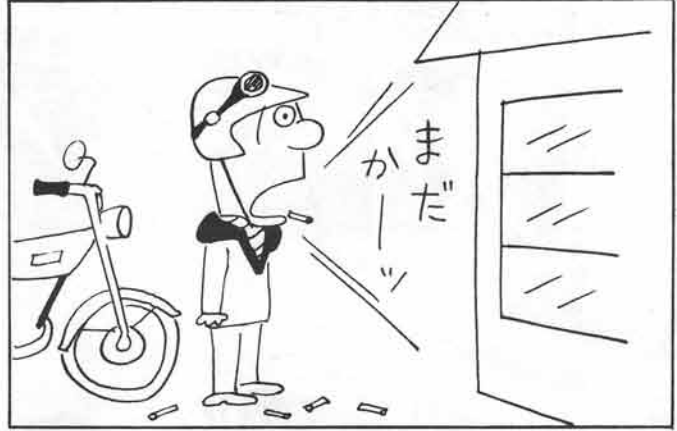
れていた自動二輪車も今や完全にわが国二輪車需要の花形となつてさえている。

本年はすでに内需が二〇%近くまで伸びており、ここ数カ月の販売台数は軽との差が数百台であり、地域によっては自動二輪車のほうが多い。

国内需要の急増、輸出の増加にともない生産は昨年比六〇%の増加となっているものいぜん出荷に追いつかず、工場在庫は底をつき、各販売店においては品不足を訴えているところも多く出ている。

本年の重量車ブームを境として、わが国の二輪車は完全に大型車が主流を占めつつある。

（十一月二十六日）





★ 陸に雪に水に、多彩な行事を展開!!

'71年を期して「ヤマハ・スポーツレジャー会（SL会）」がスタートします。

ツーリングやラリー、オートキャンプへの参加。あるいはモトクロス、ロードレースの観戦など、オートバイによるスポーツ・レジャーのほかに、スノーモビル、ボート、水上スキーなどによる多彩なスポーツ行事が、SL会によって全国的に展開されます。

多様化する現代のヤングマンのレジャーにピッタリ。総合レジャー産業のヤマハでなければ実現できない新企画です。

これまで行なわれてきたヤマハスポーツ教

# ヤマハスポーツレジャー会

室やトレール教室も、SL会のもとで開催されます。

SL会は全国的な組織を持ちます。

あなたのお店を窓口にも、SL会員を募集してください。お店のお客さまはもちろん、オートバイを持っていない人でも楽しく参加できます。

スポーツリーダーを中心に、あなたのお店でもSL会のスポーツ行事を主催してください。SL会を、お店と新しいお客さまとを結びつける接点としてご活用できます。

SL会の会費は年五百円。会員はトレールランドで自由走行を楽しめるほか、各種スポーツ行事への案内、会報の配布など、いろいろな特典があります。



## スター





## ツ教室を開こう!

ヤマハスポーツ教室はSL会員をふやし、あなたのお店のお客さまとして定着させる働きをします。

- モーターサイクルによるツーリングラリー
- モーターサイクル運動会

- ポーリング大会などの併催
- トレーリング大会などの各種行事



## スノーモビルで遊ぼう!

冬の新しいスポーツ・レジャーとしてクローズ・アップされているスノーモビルを楽しめます。バスなど、交通機関の用意もいたします。

- ヤマハスノーモビルで雪山を走行
- スキーを兼ねて楽しむ
- スノーモビル・レースの観戦

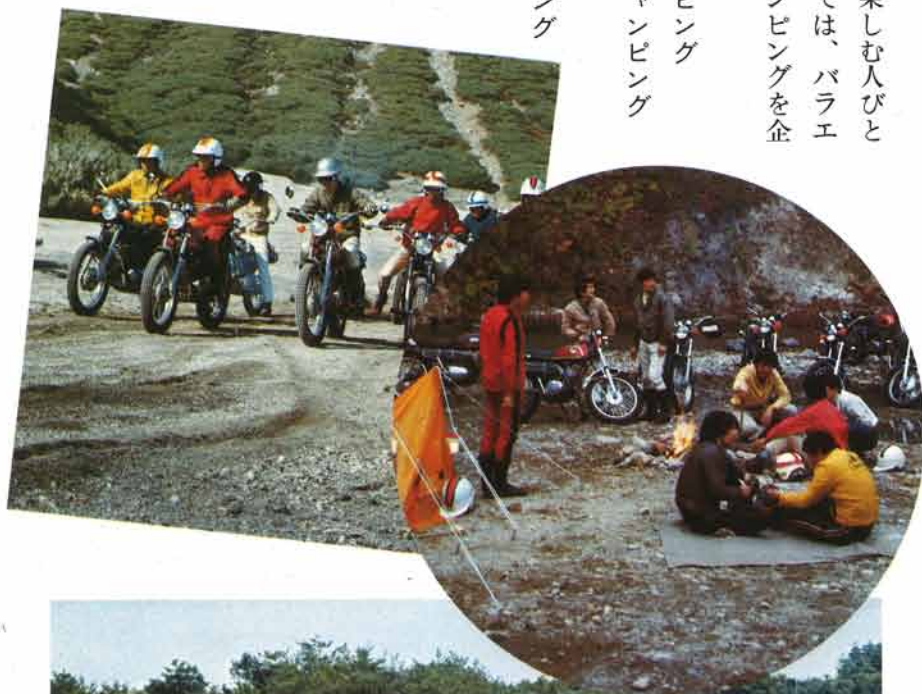




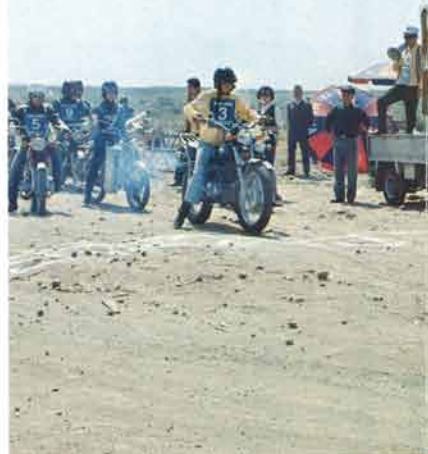
# オートキャンプに行こう!

オートキャンプを楽しむ人びとがふえています。SL会では、バラエティに富んだオートキャンプ企画を企画します。

- トレールランとキャンプ
- トレールランドでのキャンプ
- トレール運動会
- ツーリング・キャンプ
- 魚釣りキャンプ



# ヤマハスポー





## 日本選手権レースを観よう!

## 夏はマリンスポーツで!

- バスで、あるいはオートバイでツーリングをしながら、日本のビッグ・レースを観戦しましょう。
- 全日本選手権モトクロス（バス旅行）
  - ツーリングを兼ねてモトクロス観戦（バス旅行）
  - ツーリングを兼ねてロードレース観戦
  - 名所見物ツーリングを兼ねたレース観戦（その他）



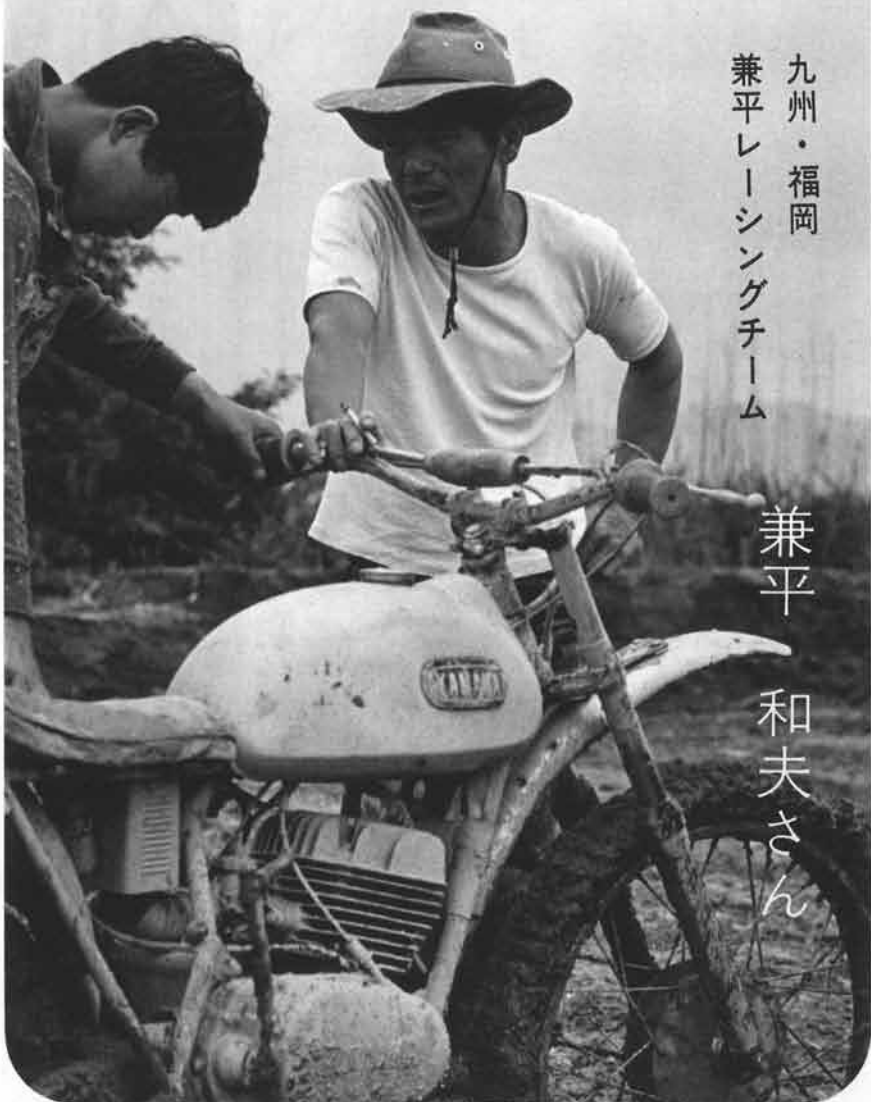
- 陸から水へ、巾広いスポーツ・レジャーが楽しめます。
- ヤマハ水上スキー教室
  - 楽しいボートینگ
  - ツーリングを兼ねたマリンスポーツ



# スポーツリーダーは語る

九州・福岡  
兼平レーシングチーム

兼平 和夫さん



'71シーズンの新しい波  
それはモータースポーツの隆盛  
ロードに モトクロスに トレールランに  
若い人は青春をかけて行動する

同好の士があつまれば  
そこに新しいクラブが誕生する

新しいクラブの活躍は  
次々と仲間を呼びよせて大きく発展する

わたしたちも行動しよう  
若いお客さまのよき相談相手となって  
大型スポーツレジャーを推進  
お店を明るく 大きく 育てていこう

ロードレースは雁ノ巣時代から、モトクロスはDT1の発売から率先して楽しんできたのが兼平和夫さん。いまも、トレールランド福岡をベースに、ちよつとうるさい存在で知られている。兼平レーシングチームは、同好の士があつまってつい最近結成されたものだが、心底から好きな連中があつまっているだけに今シーズンの活躍が見もの。中でも兼平さんが大きな期待を寄せているのは森山政信くん(17)だ。レーシングテクニクのABCから育てあげてきて二シーズン。今年はジュニア級に昇格させ、ゆくゆくは最優秀選手・ヨーロッパ派遣(MFJ)をねらっている。

その兼平さんが予測するモータースポーツ界の動き。「これからは二輪スポーツが中広く発展していき、モータースポーツ界の主流をなすでしょう。というのも、二輪スポーツは手軽に、安全に、若者たちの欲求を満足させる魅力をもっているからです。しかも、各地にトレールランドが出来れば、キットパーツなども豊富に出まわってきています。小排気量車もダイナミックな見応えのあるレースを展開し、やる人、見る人、二輪スポーツの人口は急増していくことでしょう。とにかくトレールランドで走るということは、安全運転の基礎づくりはいうにおよばず、人間の成長について学ばなければならぬことを身をもって知らせるものがあり、たいへん素晴らしい施設であるといえます。

どうぞ、みなさんも積極的にレースに参加し、スポーツ教室、トレール教室で若い人たちの正しい指導に音頭をとってもらいたいと思います。われわれクラブマンも、後輩の指導には一所懸命です」




**韓日親善** 모라싸이클·라리  
 70. 10. 24. 主催：株式会社東西企画・八

# 走ってきました韓国を...

初の海外ラリー参加ルポ

宮野尾磯吉(東京/神楽坂MCC)

スポーツレジャーの大型化は最近の傾向ですが、日本と韓国を結ぶ「関釜フェリー」を利用して、車ごと韓国に乗り入れての「日韓親善モーターサイクルラリー」が開かれ、なかなかの盛況ぶりでした。

この初の海外ラリーは月刊「モーターサイクリスト」誌の主催で十月二十四日に行なわれたものですが、これは初の海外ラリーに愛車YMIで参加、釜山→京城の往復約九五〇キロを無事に走破した神楽坂モーターサイクルクラブの宮野尾磯吉さん(東京都渋谷区本町五-一-十八)が本誌に寄せたカメラルポ。日本側からの参加四十九名の中には二人のXS-1氏のほかRX三五〇氏、RT-1氏、R3氏の元気な顔がみられ、韓国側四十一名のライダーと和気あいあいのうちにタイムを競ったものでした。



初めての韓国で、ちょっと緊張気味のスタート。右が宮野尾さんのYMI。メーターまわりにRT-1のパーツを流用して、セパレートとしている。左はクラブメイトでMCFAJロード委員長の早田さんと愛車RX350(モーターサイクリスト誌提供)



◀これが韓国のパトカー、トヨタのクラウンです。



▲雨の京城中央駅。観光バスから。

▶これが釜山と京城を結ぶ高速道路のトールゲート。



▲途中で一服。今回はラリーそのものより高速ツアーを楽しむために参加したという宮野尾さん。150km/hのスピードもマークした。

▶ゼッケンは宮野尾さんが⑤⑨ 早田さん⑥⑩



韓国の運転免許証。  
これがないと運転はダメ。

有料道路は約300km走って  
800ウォン=765円でした。





# 海外からのお客さま 相次いで本社を訪問

最近のヤマハ製品の伸張ぶりは、まさに目覚ましく、各方面の注目のマトとなつていますが、そのような動きを反映してか、このところ浜北市のヤマハ発動機・本社には海外からのお客さまが絶えません。しかし、お国柄や言葉は異なっても、ヤマハに対する関心は一つ。いずれのお客さまも、優秀な技術に裏づけされる製品の実態を見学し、ヤマハの驚異的な成長の秘密の一端にふれたと満悦しています。



▲ フランスの著名なオートバイメーカーであるモトベカインの重役達も、ヤマハ生産ラインの優秀さに感嘆しました。

▲ ヤマハ本社を訪問したヴェネズエラのヤマハ代理店のイボリト氏（左から四番目）とペトリカ氏（同五番目）。ヴェネズエラではヤマハ製品は完全に市場をリード、五十%の高シェアを誇っています。



ヤマハ本社首脳陣と会談中のオランダヤマハN・Vのセールスマネージャーボブ・バセット氏。（正面）  
同氏の話によると、オランダにおけるヤマハ船外機の伸びは特にめざましく、1970年度の9千から71年度は1万3千に飛躍するのは確実とのこと。  
同氏の右は小池専務、仲取締役、江口取締役、左は大川社員、長谷川取締役、内藤取締役、松井取締役、根本取締役。



日本で最高設備の

## 新パーツセンター完成

これは磐田工場（静岡県磐田市新貝）に完成した新パーツセンター。建築面積一万四千三百七十五平方米で、内部にはパーツセンターシステムとしては日本で最先端をゆくコンピュータオンライン化が図られ、一日に五千件以上の出入庫をさばく能力をもっています。また附帯設備として、エンジン部品および電装部品等を収容するラック（たな）ビルがあり、四十列二十一段に区分されたラックに四万種類の部品が納められ、注文と同時に八台のモノリフトが動き、部品を摘出、運搬するというパーツセンターとしてはわが国で最大、最新の設備をもつものとなっています。

YAMAHA TOPICS





YAMAHA文字の立て看板もひとさわ印象的な  
栗東パーツセンター。



## なんと全種目の勝利を独占 オーストラリアの

### R・トームズ選手

この欄でも前にとりあげたことがある、オーストラリアのヤマハライダー⑥R・トームズ選手はいぜん圧倒的な強味を示してオーストラリアのレース界をリードしています。

最近行われたビックレースでは、ウルトラライトウェイト、ライトウェイト、セニアGP、無差別級、セニア級の五種目の優勝を果たしましたが、このミーティングで行われたのはこれがすべてであり、トームズ選手一人て勝利を独占するという、前人未踏の大記録を樹立したのです。

## 近畿・中国地区の部品庫 栗東パーツセンターが稼働

〔大阪支店発〕かねてより建設がすすめられていた栗東パーツセンター（滋賀県栗田郡栗東町字林）がこのほど完成、十一月四日から営業の運びとなりました。

この栗東パーツセンターは、大阪支店管内（近畿・中国地区十一府県）における部品補給体制の強化を目的として、約二億円の費用をかけて建設がすすめられていたもので、部品の受注から配送までを二十四時間内に終了することを原則に本格的な稼働に入りました。





# 1970全日本選手権ランキング

## 日本マホフーサー



共に大きく  
伸びましょう  
秋期経営セミナーひらく

〔名古屋支店発〕ヤマハフレンド店秋期経営  
セミナーが十一月二十一、二十二日の二日間  
にわたり、三重県志摩郡の合歓の郷（ねむの  
さと）を会場にして盛大にひらかれました。  
このセミナーに参加したヤマハ販売店経営  
者のみなさんは二〇〇名を越え、七〇年代  
を勝ち抜く小売店経営のあり方にはじまる  
一連の近代的な小売店の講義に耳をかたむけ  
有意義な時を過しました。

### 全日本選手権ランキングきまる

#### 河崎裕之、岩尾一敏選手らが渡欧

MFJ主催の'70全日本選手権シリーズ戦ラン  
キングがこのほどきまり、十二月十二日東  
京赤坂のヒルトンホテルで表彰認定式および  
最優秀選手の発表があった。

ランキングはロードレース、モトクロスの  
両部門についてポイントされるが、ヤマハで  
活躍した面々が上位を占め、ヨーロッパ派遣

の最優秀選手にはロードで河崎裕之（スポー  
ツライダー）、糟野雅治（プレイメイトレ  
RC）、モトクロスで岩尾一敏（エキスプレ  
SMCC）選手らが表彰をうけた。〔写真左  
から鈴木都良夫、岩尾一敏、鈴木秀明、河崎  
祐之のヤマハフレンドたち〕



会場の真剣な空気に講義も熱が入る

こんにちは  
**ヤマハ**  
です

日光の中禅寺湖前で記念撮影

# クラブは総員180名

東京都小平市・鈴木輪業

多摩ヤマハ・ナチュラル・ライダーズ

スポーツ時代を迎えて、ヤマハ販売店さんを中心に、スポーツ・クラブづくりがさかんですが、総勢百八十人という、全国でも珍しい大規模な組織に成長したクラブがあります。武蔵野の面影が残る東京都小平市のヤマハフレンド店、鈴木輪業さんのお客さままで結成されている。多摩ヤマハ・ナチュラル・ライダーズII TAMAM・Y・N・Rです。





法規を守って整然と。おかげで事故はゼロ。

## みんなで考えたクラブの命名

経営者の鈴木昇さん（29才）が、鈴木輪業を設立したのは昭和四十一年です。

鈴木さん自身、十六才になるのを待構えて運転免許を取ったほどのモーターサイクル・ファンです。一緒にツーリングを楽しむお客さまが大勢集まりました。

こうしたお客さまを中心にクラブをつくったのが昭和四十三年の春。そして四十四年十二月には、正式に「多摩ヤマハ・ナチュラルライダーズ」という名称でスタートしました。クラブの名前も、三十にのぼる候補の中からみんな選んだものです。

商売と趣味を兼ねて、というよりも、むしろ商売をはなれて、お客さまとモーターサイクル・スポーツを楽しむという鈴木さんの姿勢も好感を呼び、クラブのメンバーは百八十人にものぼりました。このうち、ツーリングなど、スポーツ行事に参加する人が百三十人ぐらいいます。

## 四班に分かれてスポーツ活動

これだけの大世帯が、和をもって整然と行動するのは、たいへんなことです。

そこで、組織のあり方が重要になってきます。

鈴木会長を補佐して、二人の副会長さんがいます。折原正一さんはクラブの最年長者。北海道から東北、九州まで、ソロ・ツーリングの経験もあるベテランで、ヤマハ・スポーツライダー研修会にも参加しています。一方の高村武さんは二十才。モータースポーツへの情熱と、若い行動力で、クラブの人びとを

引っぱっています。

クラブは、地域によって四班に分けられています。一班は鈴木輪業さんの近くのお客さままで構成され、二班は八王子地区、三班は練馬、亀井戸、田端周辺、四班は国分寺、府中から埼玉県所沢付近のお客さまが入っています。

クラブ活動の主体はツーリングで、原則として班単位に行なわれています。ときには二班が合同して、交歓ツーリングを楽しむこともあります。

各班ごとに会計係、サービス係、救護係、カメラ係、コース選定の係などが設けられていて、行事をスムーズに進行します。こんなとき、ヤマハスポーツXS650で、いつもしんがりをつとめるのが鈴木会長の役目です。

班長さんなど、役員同士の定例の会合のほかに、クラブ総員が集まって行なう総会もあり、いずれも和気あいあいの雰囲気です。

## 昨年だけでXS650が十二台

ひとつの班が年平均六回ぐらいのツーリングを行なっていますが、これまで一件の事故もないのが多摩Y・N・Rクラブの誇りです。クラブ員の平均年齢は十九才。ほとんどが三五〇cc以上の重量車を愛用しています。

ヤマハスポーツXS650が、昨年だけで十二台も売れたのも、クラブを中心にモーターサイクルスポーツがさかんになったおかげでしょう。

多摩Y・N・Rにひかれて、よそのお店のお客さまも鈴木輪業さんを訪れるようになりました。クラブ員が友だちを紹介してくれるケースは、枚挙にいとまがありません。

# 1年中がヤマハのシーズン



東京・西武園の花見にくり出したクラブの面々

春



江ノ島へ海水浴ツーリング。男と男の裸のつき合い。



ロクハンをつらねて、紅葉をさぐる優雅な一行。

秋



発売早々のロクハンの耐久テストをかね、雪の東名を渥美半島へ。

冬



ヤマハ・スポーツリーダー研修会の鈴木さん。



クラブの副会長、折原さんも研修会に参加。



鈴木さんと談笑する副会長の高村さん(左)。ユニフォームの背中を見ているのは第一班の会計係、野田さん。

「新しいモデルが出ると、まず第一号車を買ってくださったお客さまを大事にします。そうすれば、すぐに第二号車のお客さまが出てきます。このお客さまも第一号車のお客さまと同称、大切にしようと思えます」  
 売りっぱなしにはしたくない、という考えが、お客さまに喜んでいただけるクラブの運営へと、鈴木さんの情熱をかきたてるのでしよう。

## 女性クラブの結成も計画

新年を迎えて、クラブも体質改善の必要が出てきました。

「最初は一人でも多くの人にクラブに入ってもらおうという方針できました。しかし、この辺で、規約をはっきりさせ、積極的にモーターサイクル・スポーツに参加しようという人だけに集まってもらったら、もともとまりがよくならないか、とも考えています」

「昨年の総会兼忘年会でも、クラブもより充実していくための建設的な意見がとびかいました。」

「八十人、九十人のグループを組んで、大島へツーリングに行こう！」

「個人でモトクロスに出場している仲間たちに、クラブとして援助をしようではないか」

「女性のクラブもつくって、ツーリング大会やジム・カーナと一緒に楽しもう」

「おそろいのユニフォームで銀座あたりを整然とパレードし、模範的な二輪車の運転を人びとに認識してもらおうではないか」

鈴木さんが語る新年の力強い抱負に、若い仲間たちは、目を輝かしながらうなずくのでした



# ヤマハサービスコーナー

セールスの方、サービスの方、そして事務の方、お店のみなさんでご覧ください。お客さまをお迎えしたときの“話のタネ”に絶好です。

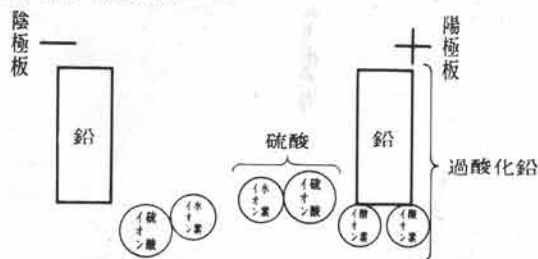
## バッテリーの話(1)

### ■電解液の比重について

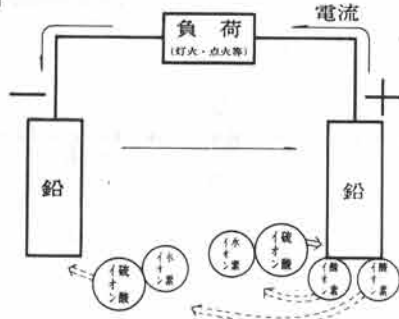
電気エネルギーの蓄え度合はどのようにして調べるか？

蓄電池は電気エネルギーを化学エネルギーに交換して蓄え、必要に応じて電気エネルギーを取り出すことが出来、しかもこれをくりかえすことが出来る装置です。電気エネルギーを蓄電池より取り出すことを放電といい、電気エネルギーを与えることを充電といいます。では鉛蓄電池(バッテリー)にどのくらいの電気エネルギーが蓄えられているのか、どのような方法で測定するのでしょうか。それは電解液(稀硫酸)の比重(濃度)によって調べることが出来ます。

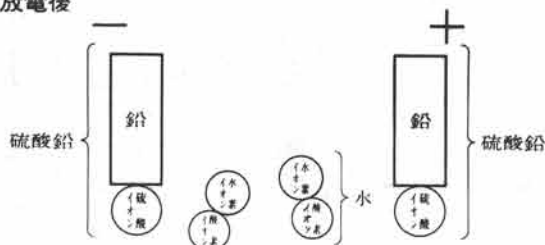
放電前(充電後)



放電中



放電後



放電・充電によって

電解液(稀硫酸)の比重(濃度)が変わる

では、なぜ電解液(稀硫酸)の比重(濃度)によって電気エネルギーの蓄え度合いがわかるのでしょうか。

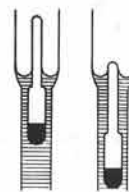
左の略図のように放電すると、電解液(稀硫酸)の硫酸分は $\oplus\ominus$ の両極板の作用物質と結合して硫酸鉛を作り、また $\oplus$ 極板の酸素は水素と化合して水と変わります。したがって放電が進むにつれて、硫酸が水に変化する(稀硫酸の濃度が薄くなる)わけです。充電は逆の変化となります。

硫酸は水より重い

硫酸は水より重く(水の1.84倍)、比重は1.84です。(水の比重は1)

比重計で充電状態が測定できる

放電が進むと、硫酸が水に変わり、稀硫酸の比重が下り(1.0に近くなる)充電すると、水が硫酸に変わり、稀硫酸の比重が上がります。



- (イ) 比重計の正しい読み方 ①Aを読む  
 (ロ) 高い浮子は高い比重を意味し、低い浮子は低い比重を意味します。  
 (ニ) 電解液比重と残存容量

- A. 完全充電時比重 1.280(20℃)の場合  
 B. 完全充電時比重 1.260(20℃) "

資料提供日本電池(株)

冬の新しいアクション  
ヤマハスノーモビルリンググー！  
**雪**

雪国の暮しを行動的なものへと変えたヤマハスノーモビル。実用に、レジャーに、ひっぱりダコの大人気です。



【現代の若者を対象に、  
ヤマハスポーツのPRが  
強力にすすめられています。】

でっかい笑い。



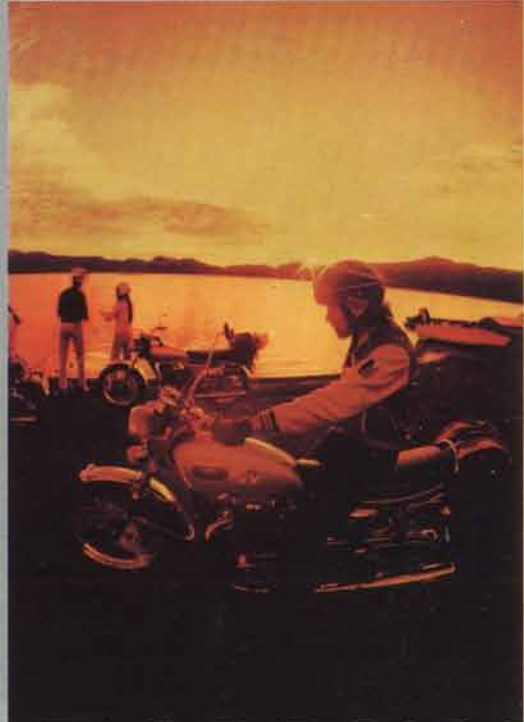
でっかい笑い。

兄弟分にひけをとらない走りっぷり。一人前だ、とすましこんだそのツラがまえ。そこあるところにでっかい笑い。

新発売—ヤマハミニ  
**YAMAHA mini** FT50  
現金定価 ¥67,000  
JT60  
現金定価 ¥69,000

平凡)ピンチ

スポーツラン。旅立つ心。



スポーツラン。旅立つ心。  
燃ゆる心は、燃ゆる。ヤマハです。

**YAMAHA**

**プレイボーイ**